

平成 28 年度第10回講演会報告

主催：公益社団法人日本技術士会群馬県支部
一般社団法人群馬県技術士会 } 共催

後援：群馬県

開催日時：平成 29 年 3 月 10 日（金）13:3～15:10

開催会場：群馬県立産業技術センター 多目的ホール

演題：「高レベル放射性廃棄物の地層処分について」

講師：山田 基幸 氏、富森 卓 氏 [原子力発電環境整備機構 (NUMO)]

講演内容：原子力発電で使い終わった燃料を再処理して、資源として利用できるウランやプルトニウムを取り出すこととしている。この過程で残る高レベル放射性廃液をガラス固化したものが高レベル放射性廃棄物である。国際的にさまざまな処分法が検討された結果、深い地層が持つ物質を閉じ込めるという性質を利用する地層処分が、廃棄物を放射能が十分小さくなるまで人間や自然災害から隔離できるので、人間の管理を必要としない良い方法であると、国際的に共通した考え方となっている。地下深部には、酸素が少ないため物の変化しにくいことと、ものの動きが非常に遅いということと、人間の生活環境や自然環境から隔離されていることがある。さらに、地下深部の特徴について説明が行われた。地層処分事業の安全確保について、廃棄物に対する多重バリアシステムの詳細な説明があり、次いで閉じ込める地層の詳細な説明があった。最後に、この事業の進め方について説明が行われた。講演後、懇親会が実施され、講師との交流が行われた。将来に亘って安全な生活を実現するため、現状と課題を正しく理解し、私たち自身が真剣に考えなければならない問題であり、有益な講演会であった。（報告者：辺見）

